

# Do-Re

## 北海道立図書館レファレンス通信

17 (通巻21号)

平成17年2月15日発行

### 【目次】

こんなのきました - 参考調査課によせられたレファレンス - 【21】	
文学賞受賞作を探せ! .....	1
こんなのあります - インターネット編 - 【11】	
オンライン書店で「本を探す、選ぶ、買う」 .....	2
市町村のみなさんからの発信 【10】	
弟子屈の“キンムトー”は間違い? 弟子屈町図書館 熊谷早織さん .....	3
《寄稿》レファレンス ~ 学校司書の匙加減 ~	
北海道札幌手稲高等学校 山本裕子さん .....	4
Librarian s Box(ししょぼこ) 【8】	
『図書館に訊け!』(井上真琴著 筑摩書房 2004.8 ちくま新書)に訊け!! .....	5
課員のつぶやき - 日々の業務からの短信 - 【11】	
協力貸出と相互貸借の今後は・・・ .....	6
● News .....	7
1 「北海道立図書館利用者講座」4回開催	
2 レファレンス・サービスの案内リーフレット作成	
3 平成16年度上川管内図書館協議会研究集会に参加	
4 国立国会図書館総合目録ネットワークシステムの一般公開開始	
5 平成16年度現職司書教諭研究協議会に参加	
6 平成16年度十勝管内公共図書館協議会第3回司書部会研修会に参加	
7 道立図書館奉仕部事務室リニューアル! オープン	
8 道立図書館の新・電算システムが稼働	
9 『子どもたちの学びを拓く学校図書館 ~ 司書教諭のための実践事例~』発行	
付録: 北海道内図書館等 Web OPAC 公開状況 .....	8
編集後記 .....	12



## 北海道立図書館

〒069-0834 北海道江別市文京台東町4 1番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

<http://www.library.pref.hokkaido.jp>

## こんなのきました - 参考調査課によせられたレファレンス - 【21】

### 文学賞受賞作を探せ！

作家の経歴紹介でよくでてくる文学賞受賞歴。好きな作家が世に出るきっかけになった作品を読みたいという方も多いのではないのでしょうか。投稿作品等を対象とした文学賞の受賞作は受賞の発表だけで終わるものから、タイトルや内容を手直ししたのち雑誌に掲載されるなど、後から出版情報をさがすとすると苦労するものも多いようです。今回は、当館に寄せられた文学賞受賞作の所蔵照会について2つの事例をご紹介します。

#### 『ママは知らなかったのよ』（北原亜以子著）

書誌情報の確認のためTRCD、総合目録、NACSIS Webcatなどを検索してみましたが該当はなし。Googleでタイトルを検索すると紀伊國屋書店HPの北原亜以子の著者略歴等や「直木賞のすべて」というサイト(<http://homepage1.nifty.com/naokiaward/>)で「第1回新潮新人賞（昭和44年）『ママは知らなかったのよ』」と紹介されていました。ところがインターネットでは雑誌への掲載、単行本への収録の有・無についての情報は確認できませんでした。

新潮新人賞がどのような賞なのか『最新文学賞事典』（日外アソシエーツ 1989）を確認してみました。この資料は賞の解説・主催者・選考委員・応募規定/選考方法などを載せた日本の文学賞の記録事典です。新潮新人賞の入賞発表、及び作品発表について、最近（平成元年7月現在）の事例を載せています。この中では、第21回新潮新人賞の作品発表の時期が紹介されており、平成元年11月号の『新潮』誌上とありました。

次に受賞当時の状況はどうか確認するため『文藝年鑑 昭和45年版』（日本文芸家協会編 新潮社 1970）を見てみると「資料 雑誌新聞掲載作品目録」のなかで『新潮 昭和44年3月号』に掲載されたことが確認できました。幸いこのバックナンバーは当館に所蔵があり、内容を確認すると「全国同人雑誌推薦小説特集」の一作品として『ママは知らなかったのよ』が掲載されていました。さらに同年の5月号でも第1回新潮新人賞として再録されていました。北原亜以子の作品といえば、テレビドラマにもなった「慶次郎縁側日記」シリーズといった時代小説がイメージされますが、『ママは知らなかったのよ』は現代の教育ママを取り上げた短編小説でした。

#### 『ルパンの消息』（横山秀夫著）

こちらは、利用者から第9回サントリーミステリー大賞佳作（平成2年）を受賞しているという情報があったので、受賞の事実を『最新文学賞事典 98/93』（日外アソシエーツ 1994）で確認しました。選考結果は『オール読物』に掲載されるということだったので平成3年5月号をみると、大賞の『死のフェニーチェ』（ドナ・M・レオン著）と読者賞の『碇泊なき海図』（今井泉著）は同年7月に文藝春秋から単行本が刊行されることが確認できました。また、『ルパンの消息』同時に佳作となった『ヴィナスの濡れ衣』（醍醐麻沙夫著）も平成3年10月に単行本が出版されていましたが、『ルパンの消息』については出版確認ができませんでした。

インターネット上ではなにか情報はないだろうかと検索をしてみると「BOOK アサヒコム」※1に横山秀夫のインタビューがありこの中で「『ルパンの消息』は本にならなかった」とありました。さらになにか情報がないかみていくと「千葉県市川市図書館」※2の「新参考業務月報 2003年1月号」のなかに「横山秀夫著『ルパンの消息』が読みたい」という質問への回答がありました。この回答ではサントリーミステリー大賞事務局まで問い合わせをし、単行本および雑誌にも掲載なしと回答していました。当館でもこの二つのHPを紹介し、出版されていないと回答しました。

レファレンス事例をHP上で公開する図書館が増えてきている現在、自館へのレファレンスにこれらを参考とすることがますます多くなるのだろうなと感じた一件でした。

※1 BOOKアサヒコム (<http://book.asahi.com/>)

※2 千葉県市川市図書館 (<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/tosyo/tosmain.htm>)

## こんなのあります インターネット編 【11】

オンライン書店で「本を探す、選ぶ、買う」

少し前までは、図書館で出版情報を調べるとなれば、冊子体の目録や情報誌を調べることが主でしたが、いつのまにかインターネットで探すことが普通になり、今や「まずはインターネットで」という調査方法が日常的になっています。書店や出版社のHPも充実し、オンライン書店も当たり前となりました。今回の「こんなのあります」は、インターネット編として、オンライン書店を有効に利用するための“本探しのサイト”を2つ紹介します。

### 書棚ドットコム (<http://www.shodana.com>)

オンライン書店や書店、図書館について、書名・著者名から本を検索するサイトです。

対象範囲は、1994年以降に出版された本となっています。

いわゆるOPACと異なる点は、書名目次、著者目次、NDCを継承したジャンル別分類、キーワード目次があり、各々クリック操作でキーボード入力をせずに検索する方式をとり、出版年を6年単位でドメインで分けている点があげられます(2000年~2005年を本館 shodana、1994年~1999年をA館 a-shodana)。

検索した結果はリストで表示され、左端のラジオボタンを選ぶことによりサブウィンドウが開き、オンライン書店(bk1、amazon、boopleなど)を自動的に検索できます。また図書館(公共・大学・国会)についても同様に横断検索することも可能です。さらに“リストのよみ”をクリックすると同様のキーワードのリストが開かれます。書籍データの更新は、概ね1週間ごとに行われているようです。

他のデータベースと異なる点は、あらかじめジャンル別に分類された書棚を見に行くという考え方で作られているところにあります。具体的な書名から書誌的事項を確認するばかりではなく、購入の可否、所蔵している図書館、そして「  
」に関する本は、どんなものが出版されているか」という調査に有効なサイトとして活用できそうです。

個人事業として運営されているサイトですが、まずはアクセスしてみても、

### 本のみちるべ (<http://www.hon-michi.net>)

オンライン書店について、特長・送料・支払方法等さまざまな面から比較したリンク集です。

現在(H17.2.1)、amazon、楽天ブックス、ブックサービス、セブンアンドワイ、bk1など27の「新刊書店」、eBOOKOFF、古本市場など24の「古本屋」のほか、自社の刊行物をオンラインで販売している主な「出版社」、コンピュータ関係、ビジネス書などの「専門書」、電子書籍を販売している「電子本」のカテゴリーに分けられ比較しています。特に「新刊書店」については、サービス・送料・検索結果で比較し、本の週間ランキング(ベストセラー)が載っているページへもリンクします。

別に設けられた「本にまつわるリンク集」は、“本屋を探す”“本を探す”...など10のリンクにまとめられています。その中のひとつ、“出版社を調べる”ではキーワードによる出版社の検索のほか、五十音索引による検索結果には、ISBNの出版者記号(4- - の部分)が付されており、出版社名をクリックするとその出版社のサイトへ、出版者記号をクリックすると「bk1」でその出版社の本が検索されます。「日本図書コード管理センター」※へのリンクもあり、“出版者検索”により出版社の住所・電話番号などの確認が容易に行えます。

また、リンク・メニュー“文学賞”では、文藝春秋、講談社、集英社、新潮社による文学賞のほか、オンライン書店「e-hon」がまとめた文学賞一覧へもリンクされています。

こちらも個人運営のサイトのようなのですが、本に関わる情報収集にも役立ちそうです。

日本図書コード管理センター <http://www.isbn-center.jp>

(1) ISBNの普及及び国内ルールの管理、(2) 出版者記号の管理、(3) ISBN番号の管理、(4) ISBNの利用の促進を目的として設立された有限責任中間法人。

---

## 市町村のみなさんからの発信 【10】

弟子屈の“キムトー”は間違い？

弟子屈町図書館 熊谷 早織さん

---

平成15年秋、弟子屈町のHPを見た内地の方から、当町所在の沼「キムトー（沼湯）」の語源について知りたいというメールが来ました。というのも、アイヌ語では「キムトー（山にある沼）」という名称はあるが、“キムトー”という名称はないため、本町の沼の名称を見て疑問に思ったとのこと。広報担当から問い合わせを受けてアイヌ語関連の資料を当たってみると、キムン・ト（山奥の・沼）（山の湖）とあります。（『アイヌ語地名の研究』（山田秀三著 草風館 1983））以下、『北海道の地名』（日本歴史地名体系 平凡社 2003）『萱野茂のアイヌ語辞典 増補版』（萱野茂著 三省堂 2002）も同様の説明。実際にキムトーという名称の湖沼が道内に数カ所あることも分かりました。また、季刊誌ファウラ創刊号（2003.9）で本町在住のカメラマン藤泰人氏がキムトーについて、『地名が動く秘境の沼』として以下のとおり触れています。「アイヌ語だとするなら「キムン」という言葉は無く（中略）キムマトーが正しいかと思う。」

しかし地元の人によってキムンではなく「キムトー」として親しまれているため、このあたりでは地名がなまって固有の名称として定着したのではないかという見解になり、このときの調査は終了しました。

そして平成16年秋、わか町の町史編纂担当より、キムトーもしくは沼湯の名称について資料の表記を確認したい、この名称で正しいかどうかについても知りたいという問い合わせがありました。前述のレファレンス記録を見返した後で、所蔵の古地図の表記を確認。改正北海道全図（復刻版 日本歴史地名体系の付録 明治20年内務省地理局）では「キムトー」、阿寒国立公園地図（複製版 昭和30年 地理調査書）では「湯沼」、屈斜路湖地図（複製版 大正14年 大日本帝国陸地測量部）では湯沼となっていました。

「キムトー」も「沼湯」も地元では馴染みの名称。ところが「沼湯」は「湯沼」と表記されており、「キムトー」はアイヌ語的には「キムン」が正しいという結果。地元の人にとっては「キムトー」「沼湯」という名称が定着しているにもかかわらず、地図や辞典に載っている地名と一致しない！という、非常にすっきりしない調査結果となりました。

平成15年の調査時に地図の表記にまで言及していれば、自信をもって「地図にも記載されているので、弟子屈町ではキムトーです！」と回答できたかもしれないというのが反省点です。

「キムトー」と「キムン」の発音のややこしさに悩まされながらのレファレンスとなりました。ほとんど同じ質問が一年後にやってきたことも面白い出来事でした。

レファレンス自体の件数は、まだまだ活用されていると言えるほど多くはありませんが、ちょっとずつでも増えてきているように思います。

---

学生時代、苦手だったレファレンス演習。的はずした回答をすることも多々あり、自分に司書の適性はないのかもしれないと落ち込んだ時期もありました。

現場では当然、レファレンス演習とは違ってこちらからも質問が出来ます。頭を抱えてしまうこともありますが、利用者の方が探していたことを見つけられたときには、喜びと同時にほっとします。司書になれて良かったなと思う瞬間です。

## 《寄稿》 レファレンス ～学校司書の匙加減～

北海道札幌手稲高等学校 山本 裕子さん

「新聞ありますか」  
（すぐ横にあるんだけど...）  
「正五角形の書き方の載っている本はどれですか」  
（おっ高等数学か。作図の本かな...）  
「次の時間に当たるの、早く早く」  
（何が必要か、先ず言ってよ...）  
「LHR で遊ばせたいんだけどさ」  
（LHR って、遊びの時間だっけ...）  
「教育課程についての本あるかな」  
（おや、管理職試験かな...）  
「泣ける本が読みたい気分なんだ。俺」  
（と言われても...）  
「学年の宴会に良い店知らない」  
（お金に糸目はつけないのなら...）



札幌手稲高等学校図書館のマスコットキャラクター

毎日毎日、様々な質問を持って生徒や職員が図書館へやって来ます。簡単な質問から調査に日数を要するものまで、年間に「何かを尋ねられる」件数およそ 5,000 件。学校図書館にとってレファレンス・サービスは図書館利用を計るひとつの目安でもあります。

レファレンス・サービスは所蔵している資料の質と量に大きく左右され、蔵書を把握している司書の能力が重要な鍵でもあることから、満足の出来る資料提供のためには、司書の能力を鍛えなければなりません。が、資料の不足と不備、加えて自己の力量不足を思い知らされる毎日です。

学校図書館は教科学習の展開に寄与することがまず第一にある図書館です。授業で生じる問題、疑問を解決出来なければ、それは教育機関としての機能の欠如ですが、長い間、学校図書館は授業から置き去りにされていました。図書館資料を必要とする授業が行われていなかったのです。したがって、レファレンス・サービスの内容も教科学習関連は少なく、教育課程に踏み込んだものではありませんでした。レファレンス・サービスにおいて、学校司書の特異性のようなものは、特に気にかけずとも支障はありませんでした。

近年、図書館オリエンテーションの充実、調べ学習の増加、図書館へのインターネットの導入等の条件整備により、レファレンス・サービスの内容も授業関連が飛躍的に増加しています。

そこで、学校司書としてのレファレンスの仕方が重要になってきます。生徒に対して場合によっては答えを提供しない、出来ないということです。課題を出している教科担当教諭の意図を受けなければなりません。生徒に図書館利用技術がある場合は問題無いのですが、図書館の体系的利用指導（学校現場は慢性的時間不足で難しい）を受けていない生徒を、相手にしている司書としては「はい、これが答えです」が一番楽なのですが・・・。

情報の教科も始まり、情報リテラシー能力を身につけた生徒の登場まで、資料提供に命をかける（学校）司書の真骨頂は、「見えそうで見えない」もとい、「出しそうで出さない、でもやっぱり出していた」でしょうかしらん。

## Librarian's Box (ししょぼ) 【8】

『図書館に訊け!』(井上真琴著 筑摩書房 2004.8 ちくま新書)に訊け!!

『図書館雑誌』12月号の「図書館員の本棚」にも取り上げられていたこの本、みなさんはもうお読みになったでしょうか? ここ数年はこのような図書館利用マニュアルとも言うべき本が多く世に出ています。一般利用者の立場からであったり(『図書館に行ってくるよ』 近江哲史著 日外アソシエーツ 2003 『Do-Re No.13』p.6 参照)、公共図書館の司書としての立場からであったり(『まちの図書館でしらべる』 「まちの図書館でしらべる」編集委員会編 柏書房 2002 『Do-Re No.8』p.6 参照)と、視点は様々です。

本書の著者は、同志社大学総合情報センターでレファレンスを担当している職員です。彼は学生時代から、図書館のゴーマンとも言うべき、特有の違和感を感じています。そしてその正体を暴くべく、自らが司書(利用者から放たれたスパイ)となって図書館に潜伏し、まずは敵を知ったうえで、最後には逆手にとって自分の見方にし、有効な利用方法を会得してやろう、と述べています。根っからの司書としてではなく、図書館は大好きだが、図書館員も図書館学も嫌い(耳の痛いお言葉・・・)という著者の視点で表現された図書館とは果たして・・・!?

6ページにも渡る詳細な目次のつけ方や、引用文献の多さなどからは、著者の徹底した図書館学への執着ぶりがにじみでていて、図書館員は研究者でもあるべきだということを再認識させてくれます。また序章である「はじめに」は、「図書館。誰もが知ってる未知の国。」という文から始まります(『図書館読本』本の雑誌社 2000 帯コピーからの引用)。誰もが図書館という存在を知っているし、利用もできるのですが、そこで働く図書館員ですらその機能についてとことん知り尽くす(使いこなす)ことは難しいのですから、まさにこの世界をよく表現しています。

そして図書館の機能や、効率の良い利用法や、図書館を取り巻く環境について具体的に述べた本文は、「利用者の視点から」と述べつつも、専門家としての豊富な知識を散りばめつつ(著者曰く「方法と知識の棚卸し!」)、さりげなくかつ抜かりなくアピールしています。(詳細については.....ぜひ本書をお読みください!)著者が自らを「図書館のスパイ」と称するならば、「ミイラ採りがミイラに」というのが、著者に対する感想になりそうです。いずれにしても、根っからの司書にとって、「敵ながらあっぱれ」な報告書と言えるでしょう。

ところで、先日受けたレファレンスで、本書が回答に非常に役立ちました。

質問は「明治30年当時の千円は、現在だといくらに相当するのか」というものでした。特定の事物(「公務員給与」や「しいたけ」、「ラムネ」等)で昔と現在の値段を比較というのは『値段史年表』(朝日新聞社)等でも回答可能なのですが、単に「千円」と言われるとじっくりくる資料がありません。そこでふと、本書に同様の例が載っていたのを思い出し、あわてて読み直してみる(第5章;p.192~)と、日本銀行で「企業物価戦前基準指数」というものをWeb上に公表していることが紹介されていました。早速ネットで調べてみると※、明治34年からではありましたが、確かに物価の平均指数があり、計算式に当てはめると当時のおおよその物価基準がわかるようになっていました。

([http://www.imes.boj.or.jp/cm/htmls/feature\\_faq.htm](http://www.imes.boj.or.jp/cm/htmls/feature_faq.htm), 2005.2 現在。)

前述のような図書館利用マニュアル本を読んでいて非常に参考になるのは、その著者の図書館に対する見方であったり、図書館PRの術であったりするのですが、それと同時に、そこで例示されているレファレンス例であったり、レファレンスブックやレファレンスツールであったりもします。

「未知の国」に慣れ過ぎてしまったり、出口のなさにあきらめたりすることなく、常に好奇心と向学心を持ち続けていたいものです。そして本書の著者のように、ちょっとした反逆心も・・・。

## 課員のつぶやき - 日々の業務からの短信 - 【11】

協力貸出と相互貸借の今後は・・・。

この2～3年で道内公共図書館（室）においても Web OPAC 公開が進み、現在（巻末「付録」参照）では68市町村がインターネット上に蔵書目録を公開しています。だれもが自由に自宅などで図書館（室）の蔵書を検索できるようになったこの環境は、図書館の相互貸借や協力貸出に対して、新たな課題を示しているのではないのでしょうか。

各図書館（室）において利用者から未所蔵資料の照会を受けた場合、リクエストとして対応し「自館(室)で購入するもの」、もしくは「他館から借り受けるもの」という振り分けをします。「他館から借り受けるもの」とした資料については、道立図書館や他館の Web OPAC により調査し所蔵館へ借受けの依頼をする、という流れが定着してきました。

この流れにより、以前のように当館へ「所蔵館調査」の依頼をし、その回答を待つ所蔵館から借り受けるという形が現状では極端に少なくなり、当館では道内の資料の動きがつかみづらくなりました。一方、窓口となる市町村図書館（室）においては、カウンター等での迅速な対応により、サービスは向上し各図書館（室）の利用も飛躍的に伸びましたが、蔵書冊数が多い図書館における貸出業務の負担の増大や購入可能な資料（新刊書）や人気本を他館へ依頼することなどの問題が出てきました。

『北海道の図書館』（北海道図書館振興協議会 2004.8）による平成15年度の市町村の実績では、20の市町立図書館が年間300冊以上他館へ貸出を行っています。その合計は23,940冊となり、当館一般資料の道内市町村への貸出冊数25,989冊と比較しても非常に大きな数字と言えます。今後も Web OPAC 公開館における他館への貸出冊数は、増大していくことが予想されます。

「相互貸借の基本原則」（北海道図書館振興協議会 2002.11）に則って運用できるような道内の体制づくりや『北海道図書館相互協力委員会報告書』（2004.11）で示された課題を解決していくためには、当館がイニシアチブを取るべき多くの課題があります。また、各市町村図書館（室）においては、何を自館で収集し何を他館に頼るのか、今一度「リクエスト制度」について検討する必要があります。さらには、「相互貸借」（協力貸出）という図書館界ならではの機能を維持し継続していくためには、当館と市町村、市町村同士での道内の図書館活動全体を視野に入れた議論や情報交換が必要です。

図書館に対する財政状況はとても厳しいものがあります。一方では利用者の資料要求は多様化し広がっていきます。その資料要求を縮小させることのないよう北海道ならではの方策を考えるときです。

### [参考データ]

他館への貸出冊数 『北海道の図書館 平成16年4月1日現在』（北海道図書館振興協議会 2004.8）より							
札幌市	9,286冊	旭川市	2,522冊	江別市	1,542冊	苫小牧市	1,408冊
恵庭市	1,098冊	千歳市	935冊	北見市	935冊	北広島市	791冊
音更町	731冊	石狩市	721冊	清水町	556冊	留辺蘂町	462冊
女満別町	419冊	遠軽町	399冊	美唄市	396冊	訓子府町	388冊
岩見沢市	377冊	新十津川町	330冊	深川市	329冊	長沼町	315冊

福島県における同様のデータ（当課の調査による）

福島市	215冊	郡山市	103冊	いわき市	90冊	会津若松市	82冊	岩代町	82冊
-----	------	-----	------	------	-----	-------	-----	-----	-----

福井県における同様のデータ（当課の調査による）

福井市	678冊	武生市	424冊	鯖江市	363冊	あわら市	144冊	丸岡町	120冊
-----	------	-----	------	-----	------	------	------	-----	------

# NEWS

## 1 「北海道立図書館利用者講座」4回開催

“図書館に関するなぜ? どうして?にお答えします”と題して、一般の方を対象に10月2日(土)午後、11月3日(祝)午前と午後、12月1日(水)午後の計4回、利用者講座を開催しました。

内容は、「本の並び方って、どうなっているの?」(分類番号や請求記号の仕組みについて) 「図書館Q&A」(図書館に関する「なぜ」・「どうして」に答える) 「館内見学ツアー」(書庫のご案内)で組み、講座全体で51名の参加がありました。特に普段見ることが出来ない書庫の見学は好評でした。

## 2 レファレンス・サービスの案内リーフレット作成

レファレンス・サービスを広く紹介するためのリーフレット(A4判三ツ折)「なんでも聞いてみよう レファレンス・サービス」を作成しました。一般資料閲覧室と北方資料室に、自由にお持ちいただけるよう備えています。

## 3 平成16年度上川管内図書館協議会研究集会に参加

平成16年11月19日に旭川市中央図書館で開催された標記研究集会に、当課加藤が講師として参加し、小規模図書館でレファレンス・サービスを広める工夫についてお話ししました。

## 4 国立国会図書館総合目録ネットワークシステムの一般公開開始

国立国会図書館は標記ネットワークシステムのうち検索機能のみを、平成16年12月6日から一般公開しました。図書館業務用とは別の画面で相互貸借機能はありません。

一般公開用URL：<http://unicanet.ndl.go.jp/>

国立国会図書館ホームページからは [トップページ](#)> [資料の検索](#)> [総合目録](#)

## 5 平成16年度現職司書教諭研究協議会に参加

平成16年12月9日~10日の2日間、道立教育研究所で開催された標記研究協議会に、当課佐藤と宮本が講師として参加しました。佐藤は「レファレンス・サービスの実際」、宮本は「パスファインダーの実際」をテーマにお話ししました。

## 6 平成16年度十勝管内公共図書館協議会第3回司書部会研修会に参加

平成17年1月21日に音更町図書館で開催された標記研究集会に、当課宮本が講師として参加しました。「よりよい図書館サービスを ~レファレンス・インタビューの工夫~」と題して、約1時間30分の講義を行いました。

## 7 道立図書館奉仕部事務室リニューアル! オープン

12月21日、奉仕部では電算システムの更新に合わせて、事務室内のレイアウトを一新し機能的な事務室に生まれ変わりました。参考調査課はドアを入れて正面です。

近くにお出かけの際は、是非、お立ち寄りください。

## 8 道立図書館の新・電算システムが稼働

昨年末から臨時休館させていただきシステム更新作業を行い、本年1月6日に新システムが稼働しました。ホームページもリニューアル(新しいURL <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>)し、「北海道図書館横断検索システム」も44館の参加を得て稼働しました。

ILLシステムは、当面、道立図書館への借受申込みに限定した運用となっていますが、市町村間の利用は一定期間の試験的運用を経て、段階的に実施する予定です。

## 9 『子どもたちの学びを拓く学校図書館 ~司書教諭のための実践事例~』発行

道教育庁生涯学習部小中・特殊教育課により、標記の冊子(A4判 32p)が昨年11月に発行されました。学校図書館の役割や活用、司書教諭の役割などについて4つの章と資料編で構成されています。

道内の学校に送付され残部は僅少ですが、入手の可否等については直接発行者まで照会ください。



当課の調査により確認した道内の図書館等施設の Web OPAC 公開状況をお知らせします。  
 なお、専門図書館（機関）については、原則他館への相互貸借は行っておりませんので、ご注意願います。

## I 公共図書館

市立図書館 21、町立図書館 31、公民館図書室等 16、計 68

### 市立図書館

- 1 札幌市中央図書館（地区図書館・地区センター等図書室を含む） <http://www.city.sapporo.jp/tosyokan/>
- 2 江別市情報図書館（分館を含む） <http://www.lib.city.ebetsu.hokkaido.jp/>
- 3 千歳市立図書館 <http://lib.city.chitose.hokkaido.jp/>
- 4 恵庭市立図書館（分館を含む） <http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/mmb/tosyo/frametosyo.htm>
- 5 北広島市図書館（地区図書室を含む） <http://www.lib.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/>
- 6 石狩市民図書館（分館を含む） <http://www.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp/>
- 7 市立小樽図書館（分館を含む） <http://webserver.otaruli-lib-unet.ocn.ne.jp/>
- 8 岩見沢市立図書館（分館を含む） <http://lib.city.iwamizawa.hokkaido.jp/>
- 9 美唄市立図書 <http://db.net-bibai.co.jp/SCRIPTS/BIBAI/HPCONT.EXE?HP=BIBAI%HPCONT.HTM&SP=BIBAI>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』（<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>）参加
- 10 三笠市立図書館 <http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/>  
 ※市のトップページの『市立図書館蔵書検索』から
- 11 深川市立図書館 <http://libweb.city.fukagawa.hokkaido.jp/melil/>
- 12 旭川市中央図書館（地区館・分室を含む） <http://www.lib.city.asahikawa.hokkaido.jp>
- 13 市立土別図書館 <http://opac.city.shibetsu.lg.jp/>
- 14 市立名寄図書館 <http://www6.ocn.ne.jp/~libnyr/top.html>
- 15 市立富良野図書館 <http://pc3.furano-lib-unet.ocn.ne.jp/home.htm>
- 16 稚内市立図書館 <http://www.wakkanai-tosyo.jp/main.htm>
- 17 市立北見図書館 <http://www2.ohotoku26.or.jp/kitami/toshokan/toshokan.htm>  
 ※郷土資料のみ検索可能
- 18 市立室蘭図書館 <http://lib.nishi-iburi.jp/> ※「室蘭・伊達広域図書館情報システム」
- 19 苫小牧市立中央図書館 <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/toshokan/>
- 20 登別市立図書館 <http://library.city.noboribetsu.hokkaido.jp/opac/>
- 21 伊達市立図書館 <http://lib.nishi-iburi.jp/> ※「室蘭・伊達広域図書館情報システム」

### 町立図書館

- 1 江差町図書館 <http://www.hokkaido-esashi.jp/library/index.htm>
- 2 長沼町図書館 <http://library.maoi-net.jp/>
- 3 栗山町図書館 <http://www.alphas.co.jp/kuriyama/>
- 4 新十津川町図書館 <http://db.net-bibai.co.jp/shinto2/>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』（<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>）参加
- 5 当麻町立図書館 <http://db.net-bibai.co.jp/tohma/>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』（<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>）参加
- 6 比布町図書館 <http://www.tosyokan.town.pippu.hokkaido.jp/>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』（<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>）参加
- 7 美瑛町図書館 <http://town.biei.hokkaido.jp/tosyokan/tosyokan.htm>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』（<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>）参加
- 8 和寒町立図書館 <http://db.net-bibai.co.jp/wassamu/>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』（<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>）参加
- 9 女満別町図書館 <http://book.town.memabetsu.hokkaido.jp/opac/index.html>  
 ※『北見地域図書館ネットワーク研究会横断検索』（<http://www.kt.lib.k-cns.jp/>）参加

- 10 美幌町図書館 <http://www.ohotoku26.or.jp/bihoro/library/index.htm>  
 ※『北見地域図書館ネットワーク研究会横断検索』(<http://www.kt.lib.k-cns.jp/>) 参加
- 11 斜里町立図書館 <http://www.town.shari.hokkaido.jp/lib/>
- 12 清里町図書館 <http://www.town.kiyosato.hokkaido.jp:81/iliswing/opac/>
- 13 町立小清水図書館 <http://www.dosanko.co.jp/koshimizu/tosyo/>
- 14 端野町立図書館 [http://www.tanno.lib.k-cns.jp/top6\\_](http://www.tanno.lib.k-cns.jp/top6_)  
 ※『北見地域図書館ネットワーク研究会横断検索』(<http://www.kt.lib.k-cns.jp/>) 参加
- 15 訓子府町図書館 <http://library.town.kunneppu.hokkaido.jp/opac/index.html>  
 ※『北見地域図書館ネットワーク研究会横断検索』(<http://www.kt.lib.k-cns.jp/>) 参加
- 16 置戸町立図書館 <http://www.town.oketo.hokkaido.jp/tosyo/index.htm>  
 ※『北見地域図書館ネットワーク研究会横断検索』(<http://www.kt.lib.k-cns.jp/>) 参加
- 17 留辺蘂町立図書館 <http://www.town.rubeshibe.hokkaido.jp/lib/>  
 ※『北見地域図書館ネットワーク研究会横断検索』(<http://www.kt.lib.k-cns.jp/>) 参加
- 18 遠軽町立図書館 <http://www.engaru.jp/jyuhou/kyouiku/tosyokan/riyou/tosyoriyou.htm>  
 ※『北見地域図書館ネットワーク研究会横断検索』(<http://www.kt.lib.k-cns.jp/>) 参加
- 19 雄武町図書館 [http://www.town.oumu.hokkaido.jp/myweb\\_city32/book](http://www.town.oumu.hokkaido.jp/myweb_city32/book)  
 ※町のトップページの『図書館蔵書検索』から
- 20 白老町立図書館 <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ka/book/>
- 21 穂別町立図書館 <http://www.town.hobetsu.hokkaido.jp/tosho/tosho.nsf/Main?OpenForm>  
 ※町のトップページの『町立図書館蔵書情報』から
- 22 平取町立図書館 <http://www2.town.biratori.hokkaido.jp/biratori/library.htm>
- 23 音更町図書館(分館を含む) <http://www.library.ne.jp/otofuke/>
- 24 士幌町しんしん図書館 <http://www.shihoro.jp/library.html>
- 25 鹿追町図書館 <http://town.shikaoi.hokkaido.jp/> ※町のトップページの『図書館蔵書検索』から
- 26 清水町図書館 <http://tosho.town.shimizu.hokkaido.jp/>
- 27 芽室町図書館 <http://www.memuro.net/> ※町のトップページの『芽室町図書検索』から
- 28 浦幌町立図書館 <http://www.library.ne.jp/raporo21/library/>
- 29 本の森厚岸情報館(分館を含む) <http://ns.town.akkeshi.hokkaido.jp/jouhoukan/>
- 30 別海町図書館 [http://www.betsukai.gr.jp/homepage/yakuba/506\\_tosyo/index.html](http://www.betsukai.gr.jp/homepage/yakuba/506_tosyo/index.html)
- 31 中標津町図書館 [http://www.nakashibetsu.jp/nakashibetsu.nsf/doc/sisetu\\_02?OpenDocument](http://www.nakashibetsu.jp/nakashibetsu.nsf/doc/sisetu_02?OpenDocument)

## 公民館図書室等

- 1 当別町公民館図書室(西当別コミュニティーセンターを含む) <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>  
 ※町のトップページの『図書室蔵書検索』から
- 2 大野町中央公民館図書室 <http://www.town.ono.hokkaido.jp/library/default.htm>
- 3 京極町生涯学習センター湧学館 <http://lib-kyogoku.cubet.com/>  
 ※町のトップページの『生涯学習センター湧学館図書検索ページ』から
- 4 倶知安町公民館図書室(絵本館を含む) <http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/index.asp>  
 ※町のトップページの『公民館図書室・絵本館蔵書検索』から
- 5 仁木町民センター図書室 <http://www.town.niki.hokkaido.jp/>  
 ※町のトップページの「くらし」→「図書」から
- 6 幌加内町生涯学習センター図書室 <http://db.net-bibai.co.jp/horo/>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』(<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>) 参加
- 7 上川町公民館図書室 <http://db.net-bibai.co.jp/kamikawa/>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』(<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>) 参加
- 8 朝日町公民館図書室 <http://db.net-bibai.co.jp/asahi/>  
 ※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』(<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>) 参加
- 9 羽幌町中央公民館図書室 <http://www.town.haboro.hokkaido.jp/>  
 ※町のトップページの『オンライン図書検索』から
- 10 幌延町公民館図書室(問寒別公民館を含む) <http://www.town.horonobe.hokkaido.jp/>  
 ※町のトップページの『図書情報』から
- 11 猿払村農村環境改善センター図書室 <http://www.vill.sarufutsu.hokkaido.jp/>  
 ※村のトップページの『図書情報』から

- 1 2 中頓別町青少年会館図書室 <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/>  
※町のトップページの『蔵書検索』から
- 1 3 利尻町交流促進施設どんと郷土館（図書室） <http://db.net-bibai.co.jp/RISHIRI/>  
※『美唄未来開発センターシステム使用館8館総合目録』（<http://db.net-bibai.co.jp/CGIDB/KENSAKU.HTM>）参加
- 1 4 津別町中央公民館図書室 [http://www.tubetu.lib.k-cns.jp/top6\\_](http://www.tubetu.lib.k-cns.jp/top6_)  
※『北見地域図書館ネットワーク研究会横断検索』（<http://www.kt.lib.k-cns.jp/>）参加
- 1 5 常呂町中央公民館図書室 <http://lib.town.tokoro.hokkaido.jp/>  
※町内小中学校の蔵書を含む総合目録
- 1 6 西興部村公民館図書室 <http://www.vill.nishiokoppe.hokkaido.jp/library/tosyo.htm>  
※町のトップページの『西興部公民館図書室蔵書検索』から

## II 大学図書館

### 国公立大学

- 1 北海道大学附属図書館 <http://www.lib.hokudai.ac.jp/>
- 2 北海道教育大学附属図書館 <http://s-opac.sap.hokkyodai.ac.jp/library/>
- 3 小樽商科大学附属図書館 <http://www.otaru-uc.ac.jp/htosyo1/>
- 4 室蘭工業大学附属図書館 <http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/>
- 5 帯広畜産大学附属図書館 <http://www.obihiro.ac.jp/~library/>
- 6 北見工業大学附属図書館 <http://www.lib.kitami-it.ac.jp/>
- 7 旭川医科大学附属図書館 <http://acesv.asahikawa-med.ac.jp/>
- 8 札幌医科大学附属図書館 <http://www.sapmed.ac.jp/libr/>
- 9 公立はこだて未来大学情報ライブラリー <http://library.fun.ac.jp/>

### 私立大学

- 1 北海学園大学図書館 <http://library.hokkai-s-u.ac.jp/>
- 2 北海学園北見大学付属図書館 <http://www.hokkai-k-u.ac.jp/tosho/>
- 3 北星学園大学図書館 <http://library.hokusei.ac.jp/>
- 4 藤女子大学図書館 <http://library.fuji-joshi.ac.jp/>
- 5 札幌大学図書館 <http://library.sapporo-u.ac.jp/>
- 6 北海道工業大学図書館 <http://library.hit.ac.jp/index.html>
- 7 北海道医療大学総合図書館 <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~library/>
- 8 酪農学園大学・酪農学園大学短期大学部附属図書館 <http://library.rakuno.ac.jp/>
- 9 札幌学院大学図書館 <http://library.sgu.ac.jp/>
- 10 北海道情報大学図書館 <http://libsrv.do-johodai.ac.jp/library/>
- 11 北海道薬科大学図書館 [http://toshokan.hokuyakudai.ac.jp/ima2\\_ja\\_euc-jp.html](http://toshokan.hokuyakudai.ac.jp/ima2_ja_euc-jp.html)
- 12 函館大学図書館 <http://www.hakodate-u.ac.jp/library/index.htm>
- 13 北海道東海大学付属図書館松前記念図書館 <http://www.htokai.ac.jp/LIB/OPACA/>
- 14 北海道東海大学付属図書館中央図書館 <http://www.htokai.ac.jp/LIB/OPACS/>
- 15 苫小牧駒澤大学図書館情報センター <http://www.t-komazawa.ac.jp/org/library/>
- 16 旭川大学図書館 <http://lib.asahikawa-u.ac.jp/>
- 17 道都大学（紋別キャンパス）附属図書情報館 <http://www.dohto.ac.jp/toshom/toshom.html>
- 18 道都大学（札幌キャンパス）附属図書情報館 <http://www.dohto.ac.jp/tosho/tosho.html>
- 19 東京農業大学オホーツク学術情報センター <http://www.bioindustry.nodai.ac.jp/~library/index.html>
- 20 北海道浅井学園大学図書館 <http://www.asaigakuen.ac.jp/library/index.html>
- 21 北海道文教大学附属図書館（恵庭本館） <http://libro.do-bunkyodai.ac.jp/>
- 22 北海道文教大学附属図書館（札幌分館） [http://libro.do-bunkyodai.ac.jp/biblio/s\\_index.html](http://libro.do-bunkyodai.ac.jp/biblio/s_index.html)
- 23 稚内北星学園大学図書館 <http://www.wakhok.ac.jp/library/index.html>

### Ⅲ 高等専門学校図書館

- 1 函館工業高等専門学校 [http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-gakujo/tosyo/libra\\_j.htm](http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-gakujo/tosyo/libra_j.htm)
- 2 釧路工業高等専門学校 <http://www.kushiro-ct.ac.jp/library/>

### Ⅳ 専門図書館等

- 1 農業・生物系特定産業技術研究機構 北海道農業研究センター  
農業・生物系特定産業技術研究機構 北海道農業研究センター畑作研究部 (芽室)  
森林総合研究所北海道支所  
水産総合研究センター 北海道区水産研究所  
『農林水産関係試験研究機関 総合目録』 <http://ss.cc.affrc.go.jp/ric/home.html>
- 2 寒地土木技術情報センター <http://www3.ceri.go.jp/center/index01.htm>
- 3 北海道立地質研究所 <http://www.gsh.pref.hokkaido.jp/library/library.html>
- 4 北海道企画振興部計画室経済調査課図書室 <http://www.pref.hokkaido.jp/skikaku/sk-kcsnj/toshohp/>
- 5 北海道立中央水産試験場  
『マリンネット北海道データベース検索』 <http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/marineinfo/internetdb/index.htm>
- 6 北海道立林業試験場図書室 <http://www.fpri.asahikawa.hokkaido.jp/tosho/default.asp>
- 7 北海道立教育研究所教育資料室 [http://www.doken.hokkaido-c.ed.jp/shiryuu/edusrch\\_bok\\_srh.php](http://www.doken.hokkaido-c.ed.jp/shiryuu/edusrch_bok_srh.php)
- 8 北海道立生涯学習推進センター (図書資料検索) <http://www2.manabi.pref.hokkaido.jp/books/find.html>
- 9 北海学園大学開発研究所 <http://kaihatsu-web.tyhr.hokkai-s-u.ac.jp/library/>
- 10 旭川大学地域研究所 <http://popup.tok2.com/home/chiken/tiker mokuzi.html>
- 11 札幌アメリカンセンター・レファレンス資料室  
『ACRS Catalog』 <http://acrs.japan.library.net/>
- 12 北海道立生涯学習推進センター附属視聴覚センター  
<http://manabi.pref.hokkaido.jp/avc/library/index.html>
- 13 北海道立特殊教育センター <http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/>
- 14 北海道立女性プラザ “情報提供フロア”  
[http://www.womensplaza.pref.hokkaido.jp/Plaza\\_menu/Shinchaku.htm](http://www.womensplaza.pref.hokkaido.jp/Plaza_menu/Shinchaku.htm)
- 15 北海道環境サポートセンター <http://www.heco-spc.or.jp>
- 16 北海道中小企業総合支援センター <http://www.hsc.or.jp/book/index.htm>
- 17 北方圏センター図書資料室 <http://www.nrc.or.jp/tosyo/tosyoTop.html>
- 18 札幌市生涯学習センター メディアプラザ図書コーナー  
[http://chieria.slp.or.jp/facilities/plaza/books\\_index.html](http://chieria.slp.or.jp/facilities/plaza/books_index.html)
- 19 札幌市生涯学習センター 視聴覚センター [http://chieria.slp.or.jp/AV/AV\\_search.html](http://chieria.slp.or.jp/AV/AV_search.html)
- 20 さっぽろ福祉情報センター <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>
- 21 札幌市教育センター教育図書資料室 [http://www.sec.sapporo-c.ed.jp/kyouiku\\_tosyo.html](http://www.sec.sapporo-c.ed.jp/kyouiku_tosyo.html)
- 22 札幌市男女共同参画センター  
札幌市消費者センター  
札幌市市民活動サポートセンター  
札幌市環境プラザ  
『札幌市情報センター』 <http://www.danjo.s1-plaza.jp/database/books/index.html>
- 23 北大山岳館 <http://aach.ees.hokudai.ac.jp/Center/Center.htm>

## 編集後記

先日、横浜市立中央図書館に行ってきました。本屋よりも本があり、本屋よりもお客さまがたくさんいる（ように見えた）ことに感銘！そしてインフォメーション・ファイルの類がとても多く、帰りの荷物の重さとともに、当課のこれからの課題の重さもずっしりと感じたのでした・・・。(I)

今回は、学校図書館におけるレファレンス・サービスについて、札幌手稲高校の山本さんから御寄稿いただきました。同校は、図書館の利用ガイダンスがカリキュラムの中にしっかりと組み立てられており、道内の高等学校の中で先端的な図書館活動を行っている一校です。また山本さんは、司書教諭や学校図書館業務に携わる職員を対象とした様々な研修会で講師を多く経験されています。前号の News 欄で紹介した『中・高生のための学校図書館利用テキスト』を執筆されたお一人でもあります。

各図書館において、ここ数年学校図書館との関わりが多くなりましたが、お互いの状況が見えづらいことがあります。児童・生徒への図書館利用を促す面からも、地域における公共図書館と学校図書館との関係が良いものとなるよう努めたいものです。(宮)

当館をよく利用してくださっている弟子屈町の熊谷さんの寄稿を楽しみにしていました。小さな図書館が頑張っていると、こちらも嬉しくなり、元気がでます。また、なかなか現場のことがわからない学校図書館の様子を、山本さんに伝えていただけたのも収穫です。

話は変わりますが、初冬に風邪を引き、咳だけが未だにとれず閉口しています。体調不良やイライラは、判断力を鈍らせます。皆様もご自愛くださいませ。(ひ)

◇ 「こんなのきました」を書き終えたあと、ふと最近の新潮新人賞とサントリーミステリー大賞の受賞者は誰だろうかと調べてみました。新潮新人賞は平成 16 年度該当者なし、サントリーミステリー大賞は平成 15 年第 20 回で終了とあり、賞自体にも変化があるのだなぁと思いました。(H)

当館の新システムに搭載された I L L システムは、道内公共図書館にとって初めて体験するものです。これまで、F a x や電話で申込みしていたものが、メールの発信で簡単に行うことが出来るようになりました。現在は、当館への借受申込みに限定した運用ですが、その効果は十分感じていただいていると思います。さらに、市町村間のやり取りがこのシステム上で行われるようになれば、絶大の効果を発揮することでしょう。全面稼働まで、課題は決して少なくないと思われませんが、一日も早い実施を目指したいと思います。(S)



## Do - Re(どうれ) の由縁

“どうりつとしょかんレファレンス”の  
略から名付けました。

しかしながら

“どれどれレファレンス”からとの説もあります。

---

THE REFERENCE NEWSLETTER OF HOKKAIDO PREFECTURAL LIBRARY

## **Do - Re**

北海道立図書館レファレンス通信 17(通巻21号)

発行年月日 平成17年2月15日

編集 北海道立図書館参考調査課

発行 北海道立図書館

〒069 - 0834 北海道江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521 FAX 011-386-6906

<http://www.library.pref.hokkaido.jp>

---